

『後期西田哲学の実践論』

大田健次郎

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 5

1 後期西田哲学の実在論とは・・・・・・・・・・・・ 5 7

1・1 最終的立場は創造的の自己の自覚的直観・・・・・・・・ 5 7

1・2 行為的直観と次自覚的直観は異なる・・・・・・・・ 5 8

1・3 すべての人が絶対無を持つ・・・・・・・・ 5 9

1・4 哲学、宗教と学問の関係・・・・・・・・ 6 0

1・5 従来の宗教の問題点・・・・・・・・ 6 2

1・5・1 瞑想的生活に入ることではない・・・・・・・・ 6 2

1・5・2 絶対者と対決した内在的超越でない・・・・・・・・ 6 2

1・5・3 従来の問題を克服した宗教が必要・・・・・・・・ 6 3

1・5・4 歴史的地盤において・・・・・・・・ 6 3

2 後期西田哲学の実践の考え方・・・・・・・・・・・・ 6 4

2・1 ポイエシス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 5

2・2 プラクシスとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 6

2・3 ポイエシス即プラクシス・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 6

2・4 行為的直観を基礎にしたプラクシス・・・・・・・・ 6 7

2・4・1 対象的ではない行為的直観・・・・・・・・ 6 8

2・4・2 行為的直観Ⅱ見ることから行為が・・・・・・・・ 6 8

3 創造的直観への実践論・・・・・・・・・・・・・・ 7 0

3・1 行為的直観でなく創造的直観の哲学を帯びて 7 0

3・2 宗教的体験との関係を理解して・・・・・・・・ 7 0

3・2・1 宗教的な体験があるという・・・・・・・・ 7 1

3・2・2 自力ではない・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 1

3・3 具体的実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 2

3・3・1 至誠の実践・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 2

3・3・2 私欲的でない・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 3

3・3・3 物となつて見、物となつて行ふ・・・・・・・・ 7 4

3・3・4 己を尽くすこと・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 4

3・3・5 絶対者の自己射影点、創造的世界の・・・・・・・・ 7 5

3・3・6 独断を捨てる・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 5

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 7

凡例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 8

注・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 8

(この抜刷についての問合せ先)

日本マインドフルネス精神療法協会)